令和７年度　やまがた社会貢献基金助成事業　活動報告書

団体名	特定非営利活動法人　山形県自動車公益センター		
事業名	令和７年度　環境意識啓発事業（エコカー啓発事業）		
助成事業区分	団体支援助成事業		
団体の所在市町村	山形市	事業費	３，５０１，８１０円
		うち助成金額	２，８５０，０００円
事業実施期間	令和７年　９月１２日　から　令和７年１２月　１日まで		

事業目的・実施内容	（事業目的） １００年に一度とされる自動車産業の変革により、脱炭素化に向けたＥＶ・水素・バイオ燃料ハイブリッド自動車等開発が加速しているが、製造過程でのCO^2発生問題等、課題も多い。然しながら、徐々に開発が進んでいる既存のＥＶ車や環境にやさしいハイブリッド車に加え、高度化する安全性能を備えた自動車を県民にたいし、広報を含めた普及推進を図ることにより、自動車依存度が高い山形県のクリーン環境及び交通安全に寄与することを目的とします。
	（実施内容） 「やまがた環境展２０２５」に合わせ、脱炭素化に向けた次世代自動等、環境に配慮した最新車の展示を通じ、安全性能を体験できる機会として「やまがた新車フェスティバル（１０月１８～１９日）」を開催。



【やまがた新車フェスティバル】
（会場正面アーチ／案内看板）



【やまがた新車フェスティバル】
（会場全景）

事業の成果	一世帯当たりの自動車保有台数が常にトップクラスの山形県において、登録台数は約９０万件を超えます。 そのような状況下、自動車産業界では脱炭素化へと向かうための方策の一つとして、環境配慮は基より、安全性能に優れた自動車へ乗り換えることは、より確実に環境保全に寄与できること、超高齢化社会を見据え、日常生活を営むうえで必要となる交通環境の改善など、ひいては、県内自動車販売店含め、経済の活性化・好循環へと繋がることから、イベントを通じ、県民一人ひとりとの対話・交流から多くメリットが生み出されることを強く感じるなど、大きな成果へ繋がる事業でありました。 〇来場者：３，４９２名（令和６年：４，５７３名） 〇試乗体験者数：４２７名（令和６年：４０７名）／試乗車４７台準備
今後の展望	今回は本事業に関し、初の試みとして試乗体験された方よりアンケート協力いただき、体験を通した意識変革や行動変容等、貴重な回答をいただくなど、これからに向けた新しいライフスタイルの提供ができるよう、わたくしどもも学び多き事業となりました。 改めて、県民の足・パートナーとして自動車への依存度が高い山形県において、このようなイベントを通し、県民一人ひとりとの対話・交流の必要性を実感するに至り、これからも、自然豊かな山形の環境を次世代へ継承していくことは基より、全ての県民にとって安心安全な交通環境の維持・提供とともに、交通事故防止に向けた啓発等も積極的に行い【持続可能なクルマ社会を目指し】環境に配慮されたクルマに乗り、エコドライブが当たり前となるよう、活動して参りたいと思います。





【やまがた新車フェスティバル】
（展示風景）





【やまがた新車フェスティバル】
（試乗案内/試乗体験車）





【やまがた新車フェスティバル】
（電気自動車等、普及）

団体概要

団体名　特定非営利活動法人
　　山形県自動車公益センター
代表者　代表理事　小関　眞一
URL　https://yauto-center.net/

令和７年度山形県ＮＰＯ活動促進補助事業

収支精算書

事業の名称	令和7年度　環境意識啓発事業（エコカー啓発事業）
団体名	特定非営利活動法人　山形県自動車公益センター

１　収入の部

（単位：円）

区分	精算額	内容
県補助金	2,850,000	令和７年度山形県NPO活動促進補助金
当該事業による収入		
その他収入		
自己資金	651,810	
合計	3,501,810	

２　支出の部

（単位:円）

区分	精算額	内容
謝金		
旅費		
印刷製本費	833,100	広報物デザイン等
消耗品･材料購入費		
通信運搬費		
保険料		
使用料	1,877,920	設営部材レンタル等
人件費		
（委託費）	569,800	企画・構成・会場レイアウト等
（備品購入費）		
（修繕費）		
その他	220,990	試乗誘導・夜間警備等
合計	3,501,810	